

名前【 】

① 昨年8月に丹波市春日町で見つかったアマガエルの名前を答えましょう。

② 「青太」は、今年の5月にどこで発見されましたか？

③ 「青太」は「雄」と判断されたのですが、なぜでしょう？

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学生／国語、理科、朝NIE

青垣の「ふれあいの里」空色の2匹を公開

声を上げることから雄と判断。カッブルとなる鳴かない雌を探していたとされ、「婿入り」を提案

鈴木研究員によると、通常のアマガエルの皮膚は、青や黄色などの色素が混ざって緑色になる。青い皮膚は、黄色の色素が突然変異で作られていないと考えられている。

現在、2匹は同じ水槽で暮らす。繁殖の可能性は未知数で、今のところそれらしき様子は無い。餌を与えている職員は「もし産卵したら、どんなオタマジャクシが出来るのか」と、あれこれ想像を膨らませている。

開館は午前9時～午後5時。月曜休み。ふれあいの里 ☎0795・888・0808

アマガエル 背中は「快晴」



空色の皮膚を持つ2匹のアマガエル。「青吉」は果たして雌なのか？＝青垣いきものふれあいの里

背中が鮮やかな空色のアマガエル2匹が、丹波市青垣町山垣の青垣いきものふれあいの里で公開されている。いずれも県内で見つかった個体。「青吉」「青太」と命名され、元気なジャンプで人気者になっていくが、実は1匹は雌の可能性もあるんだとか。

1匹目が見つかったのは昨年8月。同市春日町野上野の民家で捕らえられた。市が夏休み中にインターネット上で名前を公募し、約50点の候補から、縁起の良い「青吉」に決まった。

そこへ今年5月、神戸市北区の畑で発見された青太が加わった。県立人と自然の博物館(三田市)の鈴木武研究員(53)が預かっていた個体で、鳴き